夕刊
磐城新聞
二月一日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六・五八五番

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩は南東の風曇後晴
明日は南東の風晴

柴子君送別互選句集

（席題）寒灯、蕗の薹

冬灯ともれば壺の梅にほふ　何鳴
ふきのとう萌えなばけふを思ふべし　同
ふきのとうたゞ一つ萌ゆ目にしろき　同
冬灯みつめて大き望みあり　同
ふきのとうふるれば土をこぼしけり　柴子
ふきのとうのあはきみどりを掌に愛ずる　同
寒灯下磯山の響きを遠く聞く　同
人形の瞳に澄めり冬灯　同
潮の面ゆたかに蒼しふきのとう　同
ふきのとうに卒涼おそれ踏みけり　旗城
ふきのとう陽の斯明るき堤ゆく　同
出發を明日に寒灯につくしむ　同
獨り居は冬の灯の黄に深み　同
寒灯に紫煙のゆくへ見まもれり　石城
すれ士のかはく匂ひやふきのとう　同
寒燈のすむばかりなり赤井嶽　同
ふきのとう雨そゝぐよりほうけ來し　同
湖公のみ墓に近くふきのとう　嶽男
寒灯や銃後の記事の飽かなくに　同
ふきのとうほうけし土に黄ろなる　同
ふきのとう粉雪舞ふ日を採りに発　同
なつかしき冬灯の町よ師よさらば　同
畦ゆけばあまねき陽ありふきのとう　欣々子
冬の灯に階下の人の澄み來たり　同
ふきのとう山すそ畑のあるところ　同
ふきのとう靜かに池の鮒浮ける　同
麻紙ぶ出發うしてふきのとう　光聖
寒灯や沼に向ひて家二軒　同
寒灯に漁荒びつゝ更け行けり　同
きふのとう一叢は赤く凍み枯れし　水明
ふきのとう崖の崩れに日の匂ふ　同
泊つる舟の寒灯淡く闇迫る　同
ふきのとう枝折戸あけしまゝの家　定雄
石垣やふきのとうほけし風日和　同
寒灯に照らされて車夫の待ち居りし　喜々
ふきのとうひかり吸ひ居り山靜か　光二

日本畫小談（一）

島田忠夫

□

畫描きを一概に云ふ。よく畫會をやつて、一枚五圓位で酒が出る、料理が出る安い〳〵と云ふ。しかも絹に描いた繪を貰ふ。

所が、その繪が大した代物で、畫會の席上でちやらけ描寫てあるから助からない。畫家は一パイ氣げんで〳〵と描きなぐる。繪筆が曲藝のやうに廻轉する。結局、大人のイタヅラ繪だ。

□

大家になると、五十圓、百圓の席畫をする。之も席畫は席畫だ。後日、整理しやうとしても、美術品としての取引が出來ない。ツマラナイ價で、紙屑同樣に取引きされる。

□

それでも席畫は入氣がある。○○○長さんの紹介とか、×長さんの紙介とか云ふので、義理で入ひる。又酒席でたまには美妓もあつせんするから、畫料は高いが、我慢をする。

□

こんな形式が、實際に日本の美術を低下させる。安いから、高いからでない。畫家の性質も知らず、畫壇の地位も關はず、或は地位ばかりを氣にして、實質を知らない。そんな美術蒐集家はいくら書畫を蒐めてもてんで物にならない。

つくの句

○

夜を破る機關の呻き黒んぼのしろき目に似る帆の上の月　與謝野晶子

詩錄

送田中平土木監督所長　珠雲　小野務平

朝過赤井山
夕到白河關
到處一誠意
官游亦險艱

2月2日

△英國最初の議會（一、八〇一）△林內閣成立（昭和一二）△蚌埠、鳳陽占領（同一三）

恩讐無道（17）

久我莊多郎　香川三十代畫

落武者（一）
―天の巻―

山と山との間に挾まれた明るい碧色の空から、初夏の日射がうらゝかに、この溪谷を照らしてゐる。

上野が落ちてから、五日ばかりの日が經つ。あれだけ降りつゞいてゐた雨も、どこかの海の果てへ持ち去つたのではないかと思へるほど、不思議なくらゐ洗はれたやうな日がつゞいてゐるのだ。

その日射の下を、上野の落武者御門專藏が、歩いてゐた。

道は、深い谷を見下した絶壁の上に、重なり合つた山の屈曲に沿つて、つゞら折に折れながら、次第に登りになつてゐる。片側の傾斜には、みずみずしい青葉をつけた樹立ちがならんでゐて、その根もとに、羊齒の葉や苔が簇つて、濕氣を含んだ山氣が、汗ばんだ專藏の顔に吹きつける。

こゝが裏街道になつてゐるので他に旅人のすがたを見ないことが專藏にとつて安氣だつた。

一度は、死を決した彼である。德川幕府の崩潰を眼前に見て、生きながらへてゐる心になれない專藏だつた。

第一、いつでも專藏の胸の中で深見惣介の顔が、にくにくしく笑つてゐるのだ。

（それ見ろ。勝てる戰でもなかつたらう）

惣介がさういつて、自分の客氣を嘲笑つてゐる氣がする。

それが無念でならない。あの林光院の薄暗い一室で、抗みつゞけてゐた茅江の處女を踏み躙つたのも、惣介へ對する腹癒せであつたが、それくらゐのことで納まる胸ではない。

會津へ！

吉辭閣に火がついた瞬間しやう義隊の潰滅を知つた專藏は、すぐとそれを考へた。

幕臣に殘されてゐる希望の道はそれ一つより他にないのだ。

こゝで落す生命を生きながらへて、せめて惣介に一泡吹かせたい。會津、庄內の奧羽諸藩が團結したなら、まだ〳〵餘命のある幕府だらう――專藏は、夜どいつしよに江戸を離れたのである。

それからの道中は、風のそよぎにも心をふるはさねばならない身だつた。油斷は出來ない。いつでも本街道を避けて、裏道を辿らねばならないのだ。

それだけに、道ははかどらない幾つも困難にぶつかつた。それでも、どうやらこゝまで來たのである。上野へはいつてからは、あとは一息だつた。

山は靜かである。

四邊はひつそりとして、たゞ木の葉がさゝやいてゐるばかり。時折岩燕が逆落しに、下の激流へ降りて行く。日のあたつた太平山の肩に現はれた白い雲も、無心に空にとまつて、動くとも見えない。

その靜けさに耳を傾けながら、專藏は、坂道を登つてゐた。

心は急く。

殘されたたつた一つの希望の道をのぼつてゐるのだから、この不自由な旅の苦しさよりは人間の脚の力に限りのあることが悲しまれる。それでゐて、踏む一歩々々が、近付いた戰さの匂ひを感じさせてくれることだけ、心は勇む。

だが、この靜かな坂道の上に、自分を持ち伏せてゐる虎の牙があつたらうとは忽然と現はれて、行手をふさがるまで考へも及ばないことだつた。

第一線の慰問品ニハ
見不知羊羹と潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

產婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2）西村藥局（電3）

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平市大町　電話五〇二番
（看護婦見習、看護婦募集）
醫學博士　難波睦

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

靈効散
胃腸藥
を御試し下さい
或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺わる御方はキキメの早い
胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所
阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇六五番
定價　一八日分　五十錢　廿日分　壹圓
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　強口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

國はニッポン。魚は凍魚
日本水產特約
御小賣
平製氷會社
（電三二八・三二六）
タ鯛　ヒ甘
エビ　マナ
白魚　帆立貝柱
冷カヅノコ　ウニ貝燒
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。
ヒノマル凍魚
平代理店　四丁目
ト印魚問屋
電五二八番

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮
オゾン美顔術
御染髮洗毛
美爪術
電話　六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

外科、內臓外科
エツキス光線科
新設　產婦人科
院長　安齋徹
醫學士　黑澤廣
入院隨意
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

晝夜診療
外科一般　內臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
血液検査毎日
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學博士　北川芳夫

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市內四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

夜間診療
胃腸性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇一七番）

旅舍
大幸館
電話下谷㊇六七七七番
東京上野驛前
（下谷郵便局橫通角）
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

お醤油は……ヤマフル
味噌　醤油
たひら正宗
鰹節　食料品
醸造元
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

難産新豫算
縣の建前(五分減額)に對し ザッと五萬圓の超過
頭痛鉢巻の市當局

既報、市の十四年度豫算は時局に即應する緊縮財政の緊縮方針に基いて編成したギリ／＼歳出豫算四十五萬六千餘圓につき一昨三十日郡山市で開かれた縣の豫算編成指示會に上提され、伊藤助役、酒井主事がこれに出席種々縣當局の指示を仰いだ

ところが縣當局の方針は十三年度當初豫算(市は四十二萬餘圓)の五分減を建前としてゐるのでこの四十萬圓程度は理想額より約五萬圓の超過となり市の新豫算編成に深い悩みが生れた

ひるがへつて、歳入方面は現在のところ四十二萬圓台でこれには十三年度に一萬八千餘圓を計上した鎌田遊廓敗地買拂代は含まつてはゐないが何れにせよ歳出の削減、或は歳入増額によつてこのバランスを合せるより外無く新興平市の新豫算は可なり難産の態でいまや陣痛の眞つ最中である

新財源も望み薄?（市當局談）

右について市當局では語る

——極力縣の方針に基いて手を加へてはゐるが消耗品の騰貴や、小學校學級増加等やむに止まれぬ諸經費の増額でなか／＼容易なことではない、歳入の四十二萬圓は大体十三年度に準じたもので税額等も殆ど前年度と同額である、現在の編成では歳出増三萬六千餘圓となつて居るがどうしても歳出方面の削減が不可能で歳入欠陥三萬六千餘圓の新財源もまた悩みの種である、愼重に檢討を重ねた上時局に即應する理想豫算の編成に邁進したいと思ふ

實質的で進め
市内某有力者は語る

難産?新豫算の編成について市内某氏談

——十三年度の豫算を見るとその當初額四十二萬餘圓が年度はじめの四月には一躍五十萬圓台に更正されてゐる、新豫算が理想の五分減に編成されても、間もなく追加、更正されることだらう、實質的な豫算編成技術を望んで已まない

削減か、税増額か?
編成に二樣の見方

縣の指示に從へばその開き約五萬圓、新豫算は編成途上こゝに一大暗礁に乗り上げたかたちである、當局では目下伊藤助役以下この難局切り抜け策に腐心してゐるが各方面の意見を綜合してこの諸物價昂騰の折柄だけに縣の指示通りの編成は到底困難視され、從つて十三年度當初豫算の四十二萬圓に較べ増額されるとも削減を見るやうなことはあるまいとも云はれてゐる

若し假に四十二萬圓台の編成ならばその歳入額は十三年度を踏襲し又四十四、五萬圓台とするならば税の増額によつて新財源を見ひ出さねばなるまい

然してこの税増額に對して當局では『この時局に本當ではないが若しさうしなければどうにも遣りくりがつかぬ場合に立ち至つたとするならどうしても營業收益税か地租附加税の増額にまつ外あるまい』と語つてゐる

地主の雅量
小作問題解決

双葉郡津島村南津島三瓶利光さんが地主の山形縣二日市町三瓶源藏さんを相手取つて平區に提起した小作繼續訴訟は此程中谷裁判長、丸山小作官補調停の結果利光さんは軍籍にある身なので、いつ召集を受けるやも知れぬといふ事情に源藏さんも雅量を示し從來十五圓であつた小作料其他を今後現金十圓と玄米二石八斗にして新に五ケ年の再契約が成立

溜池工事 決る
竣功は年度末

市内平窪方面の灌漑用水に當てられる四波高藤ケ岡地内の溜池工事は昨三十一日開かれた參事會で正式議決されたので一兩日中着工する

總工費五千百圓、うち縣費補助千八百三十六圓で殘額は市寄附金其他によつて造成される、竣功は今年度末の豫定

中堅農民 長期講習

石城中堅農民講習生の長期講習は今一日から十日迄と二十三日から來月十日迄の二回に亘り平園体事務所及び神谷農試分場に開く、受講者七十名うち女生十名、講習科目左の如く君島知事を迎へて講演を聽くべく交渉すると

一般農業經營、畜産、簿記、經濟更生、負債整理、産業組合經營論、製炭

末恐しいこの少年
只乗さコソ泥が名人

只乗り名人の少年賊が平署に擧げられた——上遠野村字日向生れ某(一七)は東京、仙臺、鹽釜間無錢旅行?の常習として持て餘されてゐる札つきの惡少年で去月二十八日湯本町をブラつくうち貨物自動車の背部に飛び乘り、涼しい顔で江名町仲の作地内に下車こゝで吉田竹太郎さん外一軒からゴム長二足と折戸坂本兵太さん方から郵便貯金通帳(五十圓記入)を失敬

なほも稼ぎ口?を探してゐるところを捕つたものである、宮城縣鹽釜原町方面でも衣類數點をせしめてゐるらしい

生れ出る官能の街
ドブを隠した直線道路
愈よ花どき迄に完成

市内本町裏通りの暗渠化は先年既に聚樂館裏手より警察署通り迄百八十二間に亘る工事を完了し、以前の不潔極まるドブ通りは一轉醜態を止めぬ新市街となつたが、署通り以東釜星商店裏手に至る殘餘の百八十二間も目下一萬四千圓の工費で盛んに工事中で、尾以東終點迄は地元受益者の負擔金問題等で今尚は折衝の餘地が殘されてあるので幾分の遲延を見るとしても、全長六町餘りに亘る一直線の而も食べ物屋、興行もの、花柳關係等極めて多彩な暗渠新市街は來る花どき頃迄に完成し、新興平市に一景物を添加するものと觀られてゐる

極貧者に救ひの手
助成會の舊歳末事業

顧みどする夫に寢つかれたり、孤獨の老ひの身を歎き舊歳末に際して餅代にも困つてゐる氣の毒な極貧者に對して社會事業助成會では例年の如く温い救ひの手をさし延べることゝなり、近くこれが救濟審査會を開くので昨三十一日區長、方面委員等に來る六日迄該當者の調査方を依頼した

この救濟金は過ぐる年末の方面同情週間に際して集めた市民の義金のうちから支出される筈である

○○○○渡邊上等兵村葬　草野村出身陸軍輜重兵上等兵渡邊三右衛門君の村葬は來る六日午後一時から同村小學校に於て執行する

合戸國婦分會旗樹立式
逆沼社長講演

永戸村合戸方部の國防婦人會では來る十一日の紀元節をトし午前十時から分會旗樹立式を行ふが同會をはじめ村有志、一般區民、男女青年團では之を機會に逆沼本社長の鮮満支産業視察、北支皇軍慰問講演を開催する事となつた

トラック轉覆
助手重傷を負ふ

小名濱町横町運送熊次郎方運轉手濵賀某(三二)は三十一日正午頃鰯を滿載したトラックを運轉、泉村瀧地内縣道を疾走中運轉を誤つて車體諸共田圃に横轉、同乗の助手東白河郡宮本村生れ小林二郎(三三)は頭部に瀕死の重傷を負つた

○○○判決二つ○○○　小瀧礦泉で只飲みをした水戸市生れ小松﨑松男(五〇)は三十一日平區から懲役六ケ月◇内郷村宮抗夫志賀幸男(二三)は同日平區で詐欺罪により懲役二月の判決を言渡された

○○○○舊城跡區長代理　市内舊城跡前行政區長代理鈴木廣成氏の後任は仲村辰四郎氏と決定

衛生區長も鈴木廣成氏の辭任で猪狩寛治氏就任

驀進列車から 犯人脱走す
また平署のお手柄

昨三十一日午後二時五十分頃常磐線下り列車が泉驛東方約一キロの地點を驀進中石巻署某刑事護送の窃盗犯人宮城縣牝鹿郡蛇田村生れ小野進一郎(二四)は刑事の隙を見て飛び降り逃走、急報により平署が活動の結果僅か四時間で六時半頃犯人を永田刑事らが磐崎村地内で逮捕、同夜十時再び護送された

左黨にまた痛棒
近く酒の値上げ
但し需要は減るまい

原料米の精選に因る支出の増大及び杜氏以下從業員に對する人件費の膨脹等、コストの上向に伴ふ石城生産酒の値上げは、時節柄必至と觀られ乍らも、過般來暫らく現状を維持して來たが先ごろ會津酒二斗樽一挺に付き一圓五十錢の釣り上げが斷行され、新に升當り七錢五厘が各消費者の上に轉嫁されてゐるが値上げの濃を持した市、郡下の組合でも之の大勢に動かされ、最近夫々値上げに就て協議を進めてゐたが、愈よ消費者の動向を見究め、近く一升五錢の値上げを實行する事に決定した樣である。煙草其他嗜好品値上げ後の實例から觀てこの結果別段需要の減退はあるまいと豫想される

陣中を聽く (328)

凍つた酒を咬んで 非常時の春を迎ふ
市内田町出身 吉成一君(通信)

其後は御無沙汰致しまして誠に申譯御座いません皆々様には嘸さ厳しき折柄御變りも御座いませんかお伺ひ致します。私も無事に務めて居りますから他事乍ら何卒御休神下さいませ。私達も此所に來ましてもう二ケ月になります、お正月には内地ならば立派なお正月でありますがこちらでは凍つた酒に凍つた餅と云ふ様な具合で御座いました。寒さもこの一月の下旬から二月の中旬頃迄が一番と云ふ話でございます。又演習も私達にもう(略)勤務が多くなりました

現在私も一月になつてからは演習は二日しかやらず其他は毎日○隊事務室にて仕事をしてゐると云ふ様な状態です。それから○○兵が十二日に參りまして之の方は毎日○○を盛んにやつてゐます。

まだ色々御知らせ致し度い事が御座いますが何れ後便にて

寒さ厳しき折柄御一同様愈々御健康ならん事を遠い當地からお祈り申し上げます、また家の皆いろ／＼御世話様に相成りまして厚く御禮申上げます。

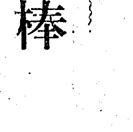
割合に暖か
市内新川町出身 丹野敬二君

時下向寒の候皆々様益々御隆昌の由賀し奉ります。八月お送り下さいました慰問袋一昨日有難く頂戴致しました。何時も乍ら御多忙中にも拘らず、色々と御配慮を煩はしお禮の申上げ様も御座いません。

敵の重鎮武漢も陥ち、我らの居る此の平和な部落にも淡いうららかな天候が續いて居ります。當地方は氣候も割合に暖かにて内地と大差なく、北支に居つた時の様なあの酷寒もありません。此の大陸の山河の中で戰塵を洗ひ、英氣を養ひ毎日教練に勵んで居ります

出動以來一年有餘、元氣愈よ旺盛にて次に來るべき進軍如何にと待ち受けて居ります故何卒御安心下さい

暮れも早や迫り戰時下の皆々様益々御繁忙の折御自愛の程偏に御願ひ申上げます。



舊十二月十四日　木曜　庚午　先勝　執　角宿　新二月二日

二日（小名濱測候所發表）
滿潮　前二、四〇　後一二、三〇
干潮　前七、四五　後八、三〇

▲一白　くづれても屈せず積木細工の積上りを樂しめ▲二黒　短慮を起して一しゆんに功を失ふ日普請移轉凶▲三碧　大器ばん成の從悟を以て堅實に進まるゝが吉▲四緑　平穩に過ぎてけん怠を感ずきん張せざる可らず▲五黄　内心期する所あるも實行に躊ちよし不安の日▲六白　重荷は一度に運ばんとせず二度三度繰返せ▲七赤　内輪に紛擾事の起らんとする日移轉開業凶▲八白　拔りやう優れし飛行士も機械の故障に難をかうむる▲九紫　あん夜に提ちんを得たる如し前途樂々と進まん

平市慶弔録

△出生　本籍市内二丁目東京市品川區東大崎五丁目哲治氏三男雅夫ちやん

▲死亡　本籍市内紺屋町東京市板橋町箱崎俊成君(一九)

代理店 魁文堂

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ニコ／＼印高級ソロバン
ドンコ帳簿・ライカ帳簿
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリイニペン
ゼネラル・カーボン紙

酒ハ白菊

酒之王 君徳 クントク
秋田・伊藤本家吟醸
平市田町
特約店 白菊廣瀬支店
電話五四番

平土産
米屋の味最中
平市驛前通り
最中專門店 米屋

高久病院 平市田町 (電話五三一番)
内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹勇雄
(看護婦至急募集)

平病院 (平市元共濟病院跡)(電話六四一番)
院主院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科　院長 鈴木定藏
内臓外科 一般外科 皮膚尿泌器科　副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科　部長 鈴木定藏
藥劑科　部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス(急患ハ此ノ限リニアラズ)

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院 電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

新春の——小瀧は招く
一日の清遊には……どうぞ小瀧へ!
鐵道指定旅館
割烹 小瀧
電話小名濱一〇三